

## ボランティアの心

### 東北支援の5年で得たもの

グループわで5年間、東北大震災の支援活動に携わった。阪神大震災では、神戸市民でありながら、仕事の関係で被災者のお手伝いができず、忸怩たる思いを引きずっていたことが大きい。

高2の時、伊勢湾台風に遭い支援物資のお世話になったこともある。それだけに大災害への関心は強いようだ。大規模な震災ボランティア活動はグループわとして初めての試み。「遠い東北まで出かけて何ができるのか」。不安は大きかったが、「20年前の先輩たちを忘れまい。子供やお年寄りに寄り添い、息の長い支援をやろう」との意気込みが勝った。

準備に3か月かけ、2011年7月には第1次チーム総勢15人が車4台で南三陸に向かった。KSCで集まった段ボール65箱の支援物資を届け、田んぼのガレキ運びや昔遊びで交流を重ねた。



東北第4次隊の折、名取市閑上地区で(2013年7月)

以後、現地の拠点を主に名取と女川に絞り、第6次まで延べ80余人が現地を訪れて大津波で壊滅した町々の惨状を目の当たりにしてきた。山の中にまで流れ着いたボート、鉄骨だけが残る防災庁舎、メンバー全員が大泣きした廃墟の大川小学校。

無残な爪跡は脳裏から離れないが、5年間の何よりの成果は、子供たちや被災者と直に語らうことができたことだろう。

「息子も夫も亡くした。私だけ生きていて申し訳ない」と涙声のおばあさん。「仮設では泣けないから、夜を待って外で泣くんだった」というおじいさん。七夕飾りの短冊に「宝くじが当たりますように」と書く子供たち(両親にあげるらしい)…。心が痛むエピソードは数多い。

東北支援チームのメンバーは、個人ではできないような貴重な経験をさせていただいた。KSCの皆さんからの応援やサポート募金のお陰だと心から感謝している。(南形 徹・生14 前監事)

## 活動レポート

### 国際会議でお茶、習字の出前教室(わ)のボランティア団体が提供

「日本のお茶は平和の味」中国人学者の感想です。グループわの書道部、茶道の有志グループと国際部会(柳川瀬部会長=国13)は神戸芸術センターで開かれた国際学術会議の参加者を対象にした茶道教室と習字教室を開きました。茶道が4月2日、30日、6月4日の3回。書道が4月5日と9日。参加者の総数は240人。大変好評でした。

国際部会のメンバーが「最近、通訳の仕事が細り、活動の場が少ない」と嘆いているのを事業担当理事が耳にし、神戸国際コンベンション協会に相談。国際会議の世話役のIAFOR(インターナショナルアカデミックフォーラム)を紹介され、メールで数回やりとり。「日本文化の粋、茶道と書道の体験教室を受け持ってほしい」とのことで開くことに。

6月4日の茶道教室。アジア、日本文化研究者の国際会議参加者約30人が昼休みに教室をのぞきました。和風の赤い色をした大きな傘が飾ってあります。柄

の部分に生花を飾り、「日々是好日」と書いた短冊も付いています。お茶の先生筑田まり子さん(一般)が参加者の目の前で茶をたて、飲んでみせます。和服を着た茶道有志グループの坂本佐和子(音17)、敦見和子さん(音19)ら8人がたてたお茶を顔の前にかかげて客に運びます。高価な干菓子の代わりはチョコレート。お茶を飲む前にいただきます。通訳は柳川瀬さんのほかに川端皓孔さん。

「なんでお茶碗を回すの?」「どうやって飲むの?」などの質問が相次ぎました。みなさん、初めての体験。「これが日本のおもてなし。心がもっている」とお茶を心ゆくまで楽しんだようでした。



4月9日は書道教室。書道部(鐘築重治代表=国7)の島ノ江繁吉(生18)、岩井俊明(音6)、成瀬和夫(生12)、横田忠男(生15)さんら6人が筆、硯、文鎮、

半紙などを用意して待機。通訳として柳川瀬さんのほか芳賀順子(福10)、高見芳明(国17)さんも参加しました。

人文学・図書館会議の参加者が、三々五々、姿を見せます。アメリカ、エジプト、トルコ、台湾、中国など国籍は多種多様。



部屋には机と椅子15人分をならべました。書道部が参加者に手本を示し、それを真似るよう促します。20分ほど体験すると次の人と交代。参加者のほとんどが筆を握るは初めて。筆の持ち方も書き順もバラバラです。あるアメリカ人は神戸に7年留学。今は韓国で働いています。「花」と書き終えて「良男」と署名。「なぜか」と聞くと「姓がgoodman」とウインク。ユーモアたっぷりです。台湾の人は「神戸」と書きましたが、書き順は正確でした。

この日の参加者は約50人。島ノ江さんは「思ったよりにぎやかに書道を楽しんでくれたようです。英語の勉強も少しは必要かな」と話していました。

(取材・写真 広報 永野知己)

### 楽遊クラブ銀雅 神戸まつりに参加

第46回神戸まつり、区民の祭りである東灘区「うはらまつり」と長田区「長田フェスティバル」に楽遊クラブ銀雅が今年も参加しました。両日ともに好天に恵まれ暑期中、沢山の見物の人たちに元気をお届けすることができました。

5月15日 三井住友BK前の「KOBE夢太鼓ステージ」では、神戸育成会ワークみくらと楽遊クラブ銀雅との共演で「いい湯だな」を。



5月14日 長田区 区民祭り「長田フェスティバル」では、若松公園鉄人28号前ステージで、毎年恒例の「鉄人28号」の曲に乗せて演技を披露。

(楽遊クラブ銀雅代表 阿部和子 福11)

**中央区会** **観桜会 4月6日に開催** 『今年は春から縁起がいいぞ!』 まさにH28年度中央区会新体制で臨んだ春恒例の花見『観桜会』は“桜も満開! 天気も見事な快晴!” こんなに天気に恵まれた花見は何年ぶりだろうか?…と参

加者の誰もがウキウキ爽快な気分になりました。

平成の大修理を終えて1年経過した姫路城大天守閣から見下ろす姫路城下、そして城内公園の見事に咲き誇る桜を見て、まさに歓天喜地の心境と天下泰平とを感じたひと時でした。

**パターゴルフ大会 5月18日に開催** しあわせの村すずらんゴルフ場で『第11回パターゴルフ競技会』を実施しました。4月の『観桜会』に続き、朝から絶好のゴルフ日和でした。ただ、女性の参加者はあまりの好天にちょっと日焼けを気にしていました。成績は、優勝が常勝続きの五味正昭さん(福7)、準優勝は前区会長の久保正志さん(国14)、3位には見事に女性が入り横山登代子さん(食18)。そして、今回の圧巻は、本大会初の“ホールインワン”を出した元田弘忠さん(生9)です。今回は女性が3名参加。いずれもパターゴルフは初めてだったそうです。(中央区会長 島ノ江繁吉 生18)

**垂水区会** **総会・懇親会 4月2日に開催** 垂水勤労市民センター多目的ホールで13時30分から総会が開催され、40名の会員が参加。

活動報告・活動計画の議案が多くの拍手によって承認され、今後の運営は18期生から19期生に無事バトンタッチされました。

引き続き、14時から懇親会が開催されました。食事をしながら恒例となったビンゴゲーム、全員での合唱そして記念撮影をして散会となりました。

**西区会** **総会・懇親会 5月23日に開催** 35名の出席のもとプレンティーホールで定期総会を開催。報告・決算、28年度活動方針・予算が承認されました。19名の区会役員が選出されました。

議事終了後、神出自然教育園グループの坂本代表より、神出自然教育園での活動内容の報告があり、新会員の入会の呼びかけがありました。総会終了後、喫茶トマトで27名が参加し懇親会を開催しました。

**東灘大邸宅ちらっ見散策 開催** 5月30日、阪急御影駅北広場に参加者20名が集合。2班に分かれ「東灘ボランティアガイドの会」5名の案内で、御影住吉豪邸・豪邸跡を散策しました。小原邸・大林邸・村山邸・武田邸・乾邸等を外から眺める。大林邸では、一直線に伸びる長い塀、高台に建つ望楼、敷地の広さにため息をつく。弓弦羽神社を参拝、この神社には多くの絵馬があり、スケートの羽生選手、サッカーの澤選手の絵馬もあるようです。散策後、かごの屋で昼食。ビールで乾杯、美味しい食事をしながら懇談し、この日の散策を終えました。

(編集 広報 岡本紘一)